

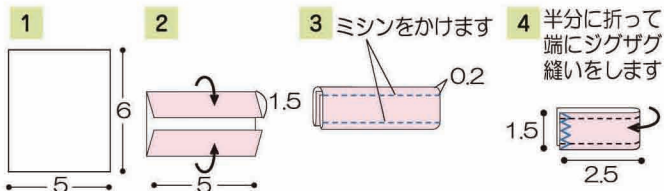


体操着袋の作り方

材料

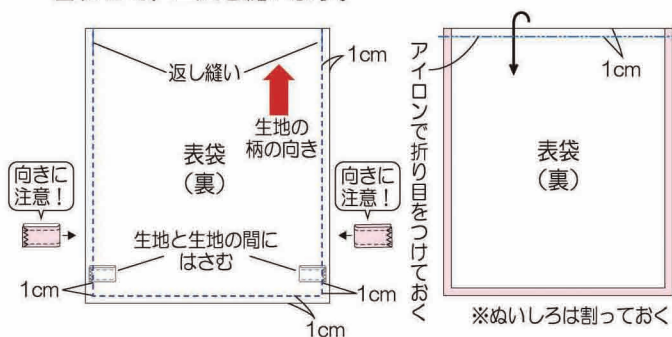


1 ひも通し用タグを作ります



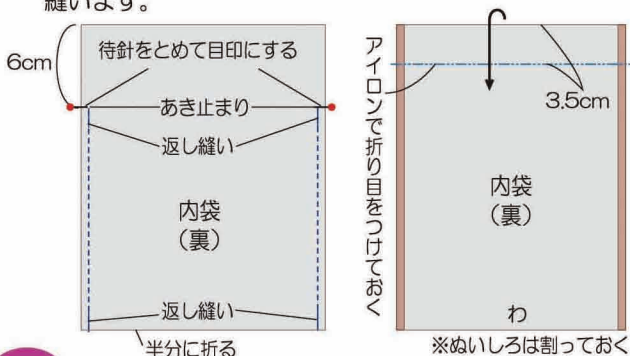
2 表袋を袋にします

タグを底の縫い線より 1cm 上にはさんで表袋を中表に合わせて、三辺を縫います。



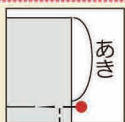
3 内袋を袋にします

半分に折って中表に合わせ、あき止まりまで両脇を縫います。



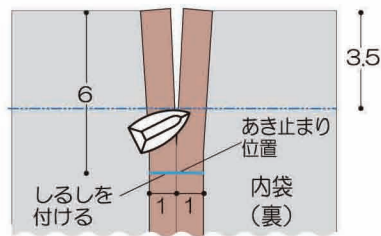
なるほど! 「あき止まり」とは?

縫い合わせの部分と「あき」の境目のことで、ひもなどを通す部分を作ったり、ファスナーなどを取り付けるためにあけておく部分までの縫い止まりの位置をさします。

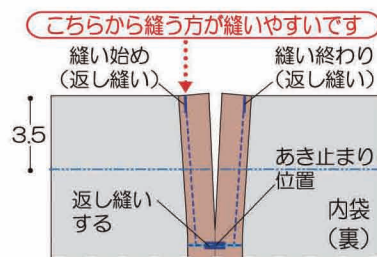


4 あき部分を縫います

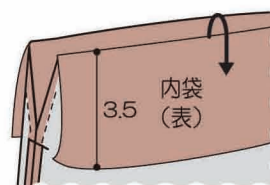
1 内袋のあき部分のぬいしろをアイロンで割ります。



2 ひも通し口を図のようにミシンで縫います。もう一方のあき部分も同様に縫います。

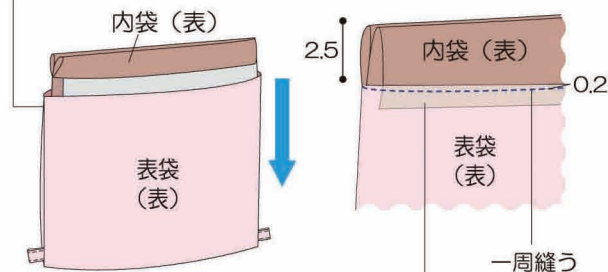


3 袋口を 3.5cm 折り、アイロンをかけます。



5 表袋と内袋を縫い合わせます

表袋の口は、裏側に 1cm 折っておく



脇の縫い合わせ線どうしを合わせて入れ、待針でとめます。

内側で 1cm 重なっています。

6 ひもを通して完成です



片方をひも通し用タグに通して結びます。